

## 基本情報

---

施設名	アイン三枚町保育園
所在地	横浜市神奈川区三枚町 31-1
電話番号	045-413-5501
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

## 評価方法

---

自己評価	
(実施期間) 平成 30 年 8 月 31 日～ 平成 30 年 10 月 16 日	個人自己評価後、クラスでまとめる。乳児、幼児毎に自己評価を作成し最終的に園の自己評価として、園長・主任で作成。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 30 年 11 月 14 日 平成 30 年 11 月 15 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認および園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行った。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 30 年 9 月 25 日～ 平成 30 年 10 月 11 日	投函後、評価機関が回収・集計。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 30 年 11 月 14 日 平成 30 年 11 月 15 日	0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめました。

## 横浜市福祉サービス第三者評価結果

### 《総括》

対象事業所名	アイン三枚町保育園
経営主体(法人等)	中央出版株式会社
対象サービス	保育所
事業所住所等	横浜市神奈川区三枚町 31-1
設立年月日	平成 27 年 4 月 1 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

### 《総合評価》

#### 【アイン三枚町保育園の立地・概要】

- アイン三枚町保育園は、横浜市営地下鉄（ブルーライン）片倉町駅から徒歩で12～3分程度、東海道新幹線と鶴見川支流に挟まれ、新横浜通りから少し入った場所にあります。地域は、東海道新幹線新横浜駅の開設や新横浜駅を通る横浜市営地下鉄（ブルーライン）の敷設をはじめ、新横浜通りの整備等で住宅地として開発が進み、注目されている地域です。保育園の周辺は、羽沢ヤードにアクセスするトラックの集積場所があり、今もトラックの集積場所は残っているものの静かな環境です。保育園の2階からは新幹線が見え、時間によっては上下線が1～2分おきに通過し、子どもにとってとても魅力です。アクセスは地下鉄片倉町から横浜、新横浜へ10分程度であり、通勤にも便利なところであり、近隣のマンションには若い住民も多く、子育て世代が保育園を切望する地域となっています。広域的には三ツ沢のスポーツ公園、日産スタジアムのある新横浜公園の中間点に位置し、近くには岸根公園があり、まだ自然が多く残る地域です。
- アイン三枚町保育園は、平成 27 年 4 月に開設され、4 年目を迎えた保育園です。定員 78 名の中規模保育園で、在籍児童数（0 歳～5 歳児）は 77 名であり、産休明け保育、長時間保育、障害児保育を実施しています。3つのコンセプトとして「1. 自由保育」、「2. モンテッソーリ教育」、「3. 共育」をアイン三枚町保育園の骨格とし、特に、モンテッソーリ教育を中心とした保育に力を入れ、家庭と共に子どもたちの成長を育んでいます。

#### 【アイン三枚町保育園の方針】

- アイン三枚町保育園は、法人他系列園と同様にアイン保育園の3つのコンセプトを柱として保育を展開しています。「自由保育」では、子どもの主体性を尊重して個々の育ちを大切にする保育を実践し、「共育」では、子ども・保護者・地域・保育士が互いに助け合い、学びながら共に育っていける保育を心がけ、推進しています。そして、3つめの「モンテッソーリ教育」は、アイン三枚町保育園の大きな特長であり、園長を筆頭に全職員が「モンテッソーリ教育」に注力して全力で取

り組んでいます。「モンテッソーリ教育」では、全ての子どもが持つ自分を伸ばす力（自己教育力）を発揮させ、大人は子どもに何かを教えるのではなく、子ども一人ひとりを発揮させ、大人は子どもに何かを教えるのではなく、子ども一人ひとりの“その時期”の興味を捉え、敏感期、適切な環境を整え、援助する保育を推進しています。アイン三枚町保育園は、3つのコンセプトを全体の保育に据え、子どもが自発的に動けるような環境を整備し、保育士は子どもの自主活動を援助するよう、保育にあたっています。

## 《特に優れている点》

### 1. 【モンテッソーリ教育の推進】

●モンテッソーリ教育の基本は、「すべての子どもは自分を伸ばす力（自己教育力）を持っている」であり、特徴として「自由に個別活動をする」、「子どもの中の自主性を重んじる」、「異年齢保育で活動する」が挙げられます。モンテッソーリ教育には各発達段階の子どもに合った教具が多くあり、子どもの意欲をかき立てます。アイン保育園では、モンテッソーリ教具や、モンテッソーリ教育の考えに基づいた中央出版オリジナル教材である『プルチノ』等を揃え、子どもたちが自分のペースで興味・関心のある活動に満足するまで取り組むことができるよう環境を整えています。アイン三枚町保育園では、「異年齢保育で活動する」を推進し、異年齢児が互いに刺激を受けながら、協調性や社会性を学び、責任感や思いやりを培っています。モンテッソーリメソッドの教育を核とした整備された環境の中で、子どもたちは達成感・満足感・自信・集中力を高め、生きる素地を身に付けています。さらに、全職員にモンテッソーリの教育に力を入れ、子どもの「求め」を汲み取りながら自発的な活動を援助する存在として研鑽を深めています。

### 2. 【日常的モンテッソーリ教育の環境整備】

●モンテッソーリ教育は近年、一部の幼稚園や保育園でもモンテッソーリ教育を取り入れており、世界中で支持されている教育法の一つです。モンテッソーリ教育を行うためには、子どもが自発的に知識を吸収できるための環境が必要不可欠であり、過去にモンテッソーリ教育を実践しているという施設で、決められた教具を「正しく使って、正しく片付ける」を訓えの1つに重点を先行し、きちんと片付いている状態だけを目にしたケースも少なくありません。しかし、アイン三枚町保育園では、基本的にモンテッソーリ教具を中心に、子どもが興味・関心を持っているものをたくさん用意し、自由に使える環境作りをしています。子どもがわからない活動がある場合は、保育士が提示をしながら丁寧に対応しています。モンテッソーリ教具をいつでも使える、わからない時には保育士が援助してくれる、片付け方、片付け場所も理解でき、温かく見守る保育士がいる、そんな日常的な環境がアイン三枚町保育園には構築されており、モデルとすべき進め方です。

### 3. 【モンテッソーリ教育の家庭への普及】

●モンテッソーリ教育を行うバックグラウンドとして、家庭の理解が求められます。比較的、教育の浸透、職員への理解・習得の難しさがある中、アイン三枚町保育園では既に、職員が率先して「モンテッソーリ教育」を家庭へ普及をしたいと考え、自主的に職員が働きかけを行い、保護者向け研修会（土曜日）を開催しています。保護者にも「モンテッソーリ教育」の考えを理解してもらい、家庭で取り入れてもらえるようカリキュラムを作成し、年5回、研修会を開催しています。具体的には教具の製作を含めた研修会とし、「おはなし会」と称し、気軽に参加できるようにしています。このように子どもを主体としてバックグラウンド固めの活動こそが「モンテッソーリ教育」の推進そのものと考えます。生きた「モンテッソーリ教育」実践の神髄を見せてもらいました。

#### 《さらなる期待がされる点》

##### 1. 【モンテッソーリ実施モデル園としてさらなる広報の強化を】

●中央出版株式会社では人材採用において、「自由保育」、「モンテッソーリ教育」、「共育」の3つのコンセプトの特徴を掲げ、保育士の採用に力を入れています。保育士を目指す学生にとって、その中でも特に「モンテッソーリ教育」については、保育理論の柱としてまた、自分の保育観、そして、モンテッソーリの理念に共感し、積極的に知識習得がしたい、保育を楽しみたい等という思いから「実地を知りたい、見学したい、学びたい、やってみたい」の対象につながります。アイン三枚町保育園は全国から月に3～4回、学生が見学に来園するモデル園になっているとうかがいました。しかし、法人ホームページから「モデル園」としての掲載や、モンテッソーリ教育実施園リスト等に掲載がまだ未掲載な状況です。実態はわかりかねますが、実際にモンテッソーリ教育の環境を構築して保育を実践しているモデル園は数少ないと思われます。ぜひ、予算・人を加算し、生きたモデル園として情報発信を強化し、広報に力を入れ、これらの保育内容に相応しい評価以上のものが得られていくことを期待いたします。また、他の保育園へモデルとなるよう期待がされます。


## 横浜市福祉サービス第三者評価結果

第三者評価受審施設 <b>アイン三枚町保育園</b>	
評価年度	平成 30 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

### <評価領域>

I	利用者本人（子ども本人）の尊重	II	サービスの実施内容	III	地域支援機能
IV	開かれた運営	V	人材育成・援助技術の向上	VI	経営管理

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重


評価分類 1 - 1	保育方針の共通理解と保育計画等の作成
評価	

### 評価の理由（コメント）

●アイン保育園の事業理念である「みらいを生き抜く力を育てる」をモットーとし、子どもを尊重した理念、方針、園目標を定め、毎日昼礼時に読み合わせをして確認しています。また、保育理念、保育目標を掲示し、保護者、職員の目の付くところに示して理解を促しています。1年目の新人職員に対しては、毎日すり合わせを行い、昼礼で読み合わせをして基本方針の「共育」を行っています。理念、方針、園目標はパンフレット、ホームページ、入園のしおり、園だより等に掲載し、保護者に周知しています。アイン保育園のコンセプトは「自由保育」、「モンテッソーリ教育」、「共育」であり、「自由保育」では、子どもの主体性を尊重して個々の育ちを大切にする保育を実践し、「共育」では、子ども・保護者・地域・保育士が互いに助け合い、学びながら共に育っていける保育を心がけ、「モンテッソーリ教育」では、全ての子どもが持つ自分を伸ばす力（自己教育力）を発揮させるよう、適切な環境を整え、保育士は「援助をする」よう保育に当たっています。

●全体的な計画は、子どもの最善の利益を第一義に作成し、園長が原案を作成し、年度末に反省と共に前保育課程の見直しを図り、決定につなげています。立地・環境や地域とのかかわり等も盛り込み、近隣の玩具のメーカー「バンダイナムコテクニカ」の事業所とは、行事（ハロウィン、クリスマス等）や、玩具の試作で遊ばせてもらう等、良好な関係を構築しています。保護者に対しては、入園説明会、懇談会において園長から全体的な計画の骨子を説明し、理解を促しています。

●全体的な計画に沿い、子どもの成長・発達を考慮しながら年齢ごとの年間指導計画を基に、月間指導計画、週指導計画に分けて作成しています。職員は、常に子ども一人ひとりの気持ちや要望を汲み取り、意見を大切にし、振り返り時に子どもの意見等を取り入れ、次期の計画に反映させるように心がけています。子どもへの説明では、言語化できる子どもには説明を行い、言語化できない子どもは態度、表情等から意思を汲み取るようにし、指導計画に反映させています。計画は子どもの自主性を尊重して柔軟に変更しています。

評価分類 1 - 2	子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施
評価	

### 評価の理由（コメント）

●入園説明会（3月上旬）では、子どもと一緒に保護者に来園をお願いし、当日、保護者に「面談票」に記入してもらい、面談票を基に担任予定保育士を中心に個別に面談を行っています。面談票を基に生育歴や家庭の状況を把握し、子どもの様子の観察を行い、職員間で情報を共有しています。記録は事務室で管理し、職員間で情報共有を図りながら保育に活かしています。支援が必要な子どもには必要に応じて区役所や横浜市東部地域療育センター、新横浜リハビリテーションセンターと連携し、助言を受けながら保育にあたり、職場間で共有して保育に活かしています。

●新入園児受け入れに際して、短縮保育（ならし保育）の重要性を保護者に理解の元、短縮保育（2日間～1か月を目安）を実施し、子どもが慣れるよう無理なく進め、保護者の勤労状況と子どもの様子に合わせて個別に対応しています。また、新入園乳児については、個別の主担当は決めず、ゆるやかなグループ担当制とし、担任と他職員間で協力体制を構築して安心して過ごせるよう配慮しています。保護者へは、乳児クラスは連絡帳で密に連携を図り、送迎時にも口頭で子どもの1日の様子を伝えています。在園児への配慮では、保育士1名は極力持ち上がりとし、子どもの表情や様子等に留意し、落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう不安軽減に配慮しています。活動は、様子を見ながら新入園児と在園児と分けて保育をするよう配慮しています。

●個別計画については、子どもの成長や発達状況に応じて計画を作成しています。指導計画は、月案レベルで毎月の反省、見直しを実施して次月に反映し、年度末に年間計画の反省と次年度の計画に活かしています。指導計画の評価、改訂にあたっては、職員間で話し合いの場を設け、状況の必要に応じて見直しを図っています。また、クラスでの全体会議で決定した事項等を主任、園長の確認を得た上で月1回、全体会議で検討して計画に反映するようにしています。

●乳児保育（0歳児）について、高月齢児、低月齢児に合わせて遊具や絵本等を担任間で検討を図り、常に子どもの要求が満たされる環境作りを最重点に置き、整備に努めています。食事では、成長、発達状況に応じてスプーンの形状を変えたり、テーブルや椅子の大きさ、高さ等を工夫しています。保護者に対しては、1日の様子を連絡帳、口頭で伝えると共に家庭での様子を把握し、子ども一人ひとりの適切な環境を

求めて常に検討するよう心がけています。

● 1歳以上3歳未満児の保育においては、子ども自らがやりたい気持ちを大事に見守り、時間に捉われずに活動を尊重して保育を進めています。遊びではモンテッソーリ教具を中心に、手先を使った活動を行い、子どもが玩具をすぐ取れる環境を整えています。また、発育に応じて「走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張る」等、全身を使う遊びを取り入れ、探索活動を楽しめるよう散歩にも力を入れています。職員は、子どもの体の状態、機嫌、食欲等の日常の観察を十分に行い、子ども一人ひとりに合わせた対応に努めています。

● 3歳以上児の保育では、3歳、4歳、5歳児の異年齢保育を実施し、「モンテッソーリ教育」に沿って日常的に遊びながら学べる時間を提供しています。基本的にモンテッソーリ教具を中心に子どもが興味・関心あるものを多く揃え、自由に使える環境を整備しています。わからない活動がある場合は、保育者が提示をしてわかりやすく援助しています。また、体操やリズム遊びも取り入れ、今年度はさらに運動遊びに力を入れて取り組み、主に基礎運動(支持運動・跳躍運動等)を実施し、子どもたちは楽しんでます。運動会前には披露するダンスの練習や他のクラスのダンスまで覚える等、楽しみながら体を動かしています。

評価分類 1 - 3	快適な施設環境の確保
評価	


### 評価の理由 (コメント)

● 施設環境については、毎日、清掃確認表を基に園内外の清掃を行い、清潔に保たれています。各保育室は窓が多く設けられ、陽光が入り明るく、レースカーテンで遮光を調整し、空気清浄機・加湿器を設置して快適な環境を整えています。また、室内の温・湿度管理を行い、日誌に記録し、日々通気、自然換気に配慮しています。保育の音、声については、体操時、午睡時に音楽を使用するのみとし、保育者の声のトーンにも配慮しています。

● 沐浴設備は1階に設備しています。温水シャワーも設置し、汗・汚れの処理等を行い、体の清潔を保っています。使用後は、マニュアルに沿って掃除、チェックを行い、定期的に清掃点検と衛生管理を行っています。


● 園では、保育室内を棚、パーテーション、衝立て等で工夫し、少人数で遊べるスペースを設けて小集団保育を行っています。寝食については機能別の空間を定め、子どもが安心して過ごせるよう空間作りに配慮しています。異年齢の交流では、朝夕の合同保育では異年齢集団で保育を行い、3歳～5歳児は日常的に異年齢で保育を行い、相互に学び合える関係作り・活動を実施しています。



評価分類 1 - 4	一人ひとりの子どもに個別に対応する努力
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 3歳未満児については、個別指導計画を作成しています。策定にあたり、クラス全体会議で子どもの姿を話し合い、計画の見直しを図りながら作成しています。特別な課題がある子どもについては幼児でも個別指導計画を作成し、職員会議や昼礼で共通理解を図り、保育に当たっています。配慮を要する子どもについては、月間指導計画の個別配慮の欄に記載して共有しています。保護者とは日々の保育状況を伝え、連携を図りながら共有し、必要に応じて面談を行い、意見や要望を聞いています。家庭からの情報を基に、個別対応にて柔軟に変更、見直しを図り、離乳食、トイレトレーニングについては、保護者へ説明の上、同意を得て進めています。
- 子ども一人ひとりの個別状況の記録はファイルし、全職員で共有しています。引き継ぎ、申し送りについては、日々の保育状況の子どもの特記事項、成長発達記録を活用して交代を行う保育士に引き継いでいます。転出、転入、就学の場合は保育所児童保育要録の送付や、就学先と連携をして対応しています。

評価分類 1 - 5	保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み
評価	

### 評価の理由（コメント）


- 特別に配慮が必要な子どもの保育については、担任以外の保育士や職員が職員会議、昼礼で配慮事項やかかわり方について話し合い、記録に残し、職員間で共通理解を図っています。また、地域の専門機関と連携を図り、横浜市東部地域療育センターの巡回指導を受け、相談機能も活用して保育に生かしています。障害児保育については、ケース会議を実施して全職員で対応ができるよう体制を整え、共通認識を図っています。巡回相談記録、日誌、個別指導計画、個人面談での記録等については決められた場所に保管し、情報の管理を徹底し、閲覧もできるようにしています。
- 横浜市東部地域療育センター、新横浜リハビリテーションセンター、医療機関、専門機関と連携し、指導・助言を得られる態勢を整えています。障害児保育のための環境整備では、玄関の段差をなくし、園内はバリアフリーであり、オストメイト対応のトイレ、エレベーターを設置しています。職員は、神奈川県主催の障害児保育研修に参加し、知識を深め、保育の環境改善に取り組んでいます。
- 虐待の定義については、虐待に関するマニュアルを備え、法人本部主催の研修でも虐待の定義を確認しています。虐待の予防、早期発見のために日頃から観察や保育を通して、子ども・保護者の変化、気づきを大切に、職員間で情報を共有し、気になる場合は直ぐに園長、主任に報告する体制を整えています。



また、子ども、保護者とコミュニケーションを図り、必要に応じて面談を行い、保護者の心情を汲み取るよう心がけ、早期発見に努めています。虐待が明確になった場合や、心配や見守りが必要な場合には神奈川区役所、福祉保健センターの保健師に相談の上、児童相談所に通告・相談し、連携して取り組みます。

●食物アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医からの「アレルギー疾患生活管理指導表」を受け、保護者と密に連携を図り、職員間で情報を共有して除去食を提供しています。アレルギー児の保護者対応については担当保育士、栄養士、保護者で食事形態の変更時に面談を実施しています。給食では、専用食器、トレイを用い、ラップにアレルギー源（小麦粉、乳製品等の名称）・名前を記入し、個別配膳と栄養士、担任でダブルチェックを徹底し、座席位置に配慮を行い、誤配膳、誤食がないよう徹底しています。

●文化の異なる外国籍の子どもに対して文化や生活習慣、考え方の違いを尊重しています。園では、モンテッソーリ教育での教具の1つに「文化の教育」があり、地球儀、世界地図パズル、国旗のぬり絵、絵カード等を通して在園している子どもの国の挨拶、ことば、習慣等に触れる機会を持ち、理解につなげていきます。意思疎通についての対処方法については法人系列全園で心得、対応できるようにしています。場合に応じて日本語のわかる同国の保護者に通訳を願う場合もあります

評価分類 1 - 6	苦情解決体制
評価	

### 評価の理由（コメント）

●保護者からの苦情などに関しては、入園のしおりに苦情解決責任者、苦情受付担当者を明示し、面談、文書等の方法により相談・意見を受け付けていることを知らせています。第三者員の連絡先、氏名も入園のしおりに明記し、入園説明会で苦情解決について説明を行い、園内に掲示して苦情に対する対応姿勢と手続方法を示しています。要望や意見等を聞く機会としては、送迎時の保護者との会話、連絡帳、意見箱、懇談会、個人面談、行事後のアンケート等を実施しています。また、懇談会では法人保育事業本部の担当職員が出席し、利用者の意見や要望を直接聞いています。意見を表明するのが困難な子どもや保護者に対しては、日頃から保護者との信頼関係に努め、相談、要望を述べやすい環境作りに努めています。園長、主任は積極的に声をかけるようにしています。

●苦情・要望があった場合は、マニュアルに基づいて対応し、記録を行い、園長、主任が中心となって改善策を検討し、職員会議等で改善策・対応方法を職員に周知しています。保護者に対しては、迅速・丁寧に対応し、改善策を説明しています。必要に応じて第三者委員や神奈川区のこども家庭支援課を交えて対応できる体制を整備し、連携を図っています。過去の苦情・トラブル、要望のデータは蓄積・整理し、サービス向上に生かしています。

## 評価領域Ⅱ 利用者本人（子ども本人）の尊重

### 評価分類Ⅱ－1

### 保育内容 [遊び]

#### 評価



#### 評価の理由（コメント）

●玩具や教材等は、子どもの目線に合わせて設置し、子どもが自由に遊びを選択し、教具、玩具を取り出して遊べるようにしています。自由遊びの環境作りでは、自由選択ができる環境を設け、モンテッソーリ教育の導入によるモンテッソーリ教具で自由に興味がある遊びを選択し、各コーナーを設けて子どもが落ち着いて遊びに集中できる環境作りを行い、教具の使い方がわからない時には保育士がサポートできる環境を整備しています。1日の午後は机上遊びや模倣遊び、構成遊び、絵本等を取り入れ、自由遊びの時間と設定保育等、メリハリをつけて保育を行っています。


●一斉活動や自由遊びの時間は、自由遊びでは、子どもがそれぞれ落ち着いて遊べるよう、棚、パーティション、衝立て、机等を活用し、子どもが好きなことをして遊び込める時間を十分に確保しています。また、主体性を尊重し、子どものやりたいことを集団活動に取り入れています。例えば、生活発表会等には子どもの自由な発想や声、遊びから取り入れるようにしています。一斉活動については、体操遊びや運動を行い、みんなでルールを守りながら遊ぶ楽しさを伝えています。保育士は、一緒に遊びを見守る中で子どもの興味や関心を知り、子どもの発想等を大切にし、年齢に応じて友達とのかかわりや約束を守る等、社会性を身につけられるよう支援しています。

●栽培では、園庭でプランターを活用してカブ、ほうれん草等の野菜を育て、水やり、成長過程を観察し、収穫体験をして食育（クッキング活動）につなげています。飼育では、金魚、イモリ、メダカ、カブト虫、クワガタを育て、エサやりを通して小さな生命の尊さを学んでいます。地域との交流では、お散歩で行き交う地域の方々に挨拶し、園の隣にあるバンダイナムコテクニカ事業所とはイベントにも協力してもらう等、親しく交流しています。

●子どもが自由に表現できるように自由画帳、絵具、紙を用意し、子どもの興味に応じて自由に表現できるようにしています。モンテッソーリ教育では、教具を使って遊ぶ「おしごと」の時間として取り組み、子どもが自由に使い、自由に遊び、様々な分野を遊びながら学んでいます。また、季節の素材（クリスマス用のリースの素材等）を用意したコーナーも設置して、子どもの自由な発想で表現を楽しんでいます。

●子ども同士のトラブルについては、自分たちで解決できるよう援助を行い、話し合いの場所を設定し、必要に応じて仲介しながら支援しています。乳児の場合は、発語できる子どもについては極力見守り、子どものやりとりを大切にしつつ、発達に応じて声をかけるタイミングを見極めて援助しています。幼児では日常、異年齢で生活しており、5歳児が3歳児の話聞いてあげたりしています。

●健康増進の工夫では、積極的に散歩や戸外活動を取り入れ、子どもの成長・発達に合った運動遊びや体操を導入し、体力作りを行っています。紫外線対策では、日よけシェードを取り付けて日陰を作り、紫外線アレルギーの子どもについては薄手の長袖のシャツを着用する等、対策を講じています。夏季は、環境庁の暑さ指数の数値を参考にしながら外遊びの時間を配慮しています。子どもの体調については、連絡帳や視診により把握し、室内遊びに切り替える等、体力を温存した遊び（絵本、ブロック、モンテッソーリ活動）を取り入れています。

評価分類Ⅱ－1	保育内容 [生活]
評価	

### 評価の理由（コメント）

●食事を豊かに楽しむ工夫として、乳・幼児の年間指導計画、月間指導計画に「食育」のねらいを設け、園庭で収穫した野菜等を給食に取り入れたり、野菜の果物の実物に触れ、クッキング活動を実施する等、子どもが興味を持って楽しめるよう工夫しています。偏食対応については、無理強いをせず、食べる意欲を引き出せるよう一人ひとりに合った声かけを心がけて対応しています。幼児クラスでは、異年齢グループで食事を摂り、三角食べを習慣化し、「いただきます」を個別に行い、マナーと共に食事の一連を知り、楽しく食べる雰囲気作りをしています。乳児の授乳、離乳食では、子どものリズムに沿って対応し、子どものペースを尊重して提供しています。

●食育では、月ごとに季節（行事）に合った旬の食材を用いたスペシャルメニューを提供しています。9月は「お月見」ランチ、10月は「ハロウィン」ランチ、11月14日は「七五三」メニューが提供され、子どもたちの楽しみとなっています。給食の委託事業者から珍しい野菜を持参してもらい、子どもたちに視覚・触覚から食育につなげる提供もしてもらっています。


●献立は月2回サイクルで提供し、栄養士は子どもたちの食事の様子を巡回し、月1回の給食会議で職員と喫食状態を検討し、献立会議に意見を出し、調理法等の工夫・改善に生かし、2回目の提供の際は工夫を生かすようにしています。献立表は、前月に翌月の献立表を保護者へ配付し、毎月「給食だより」を発行し、当日の給食サンプルは提示して食材の産地を示しています。給食だよりは、食に関する情報や子どもと栄養士でのクッキング活動のレシピを掲載し、懇談会では給食試食会も行い、味付けの工夫や盛り付け等、試食を通して家庭での食育につなげています。

●午睡については、安心して心地良く午睡ができるようカーテンで調整し、室温、湿度に配慮しながら午睡中の環境作りをしています。保育士は、子守歌を唄ったり、絵本の読み聞かせをする等、心地良い眠りに誘うようにしています。眠れない子ども、眠くならない子どもには、休息することを重点にし、横になって静かに過ごすよう促し、視覚的に刺激を受けやすい子どもについては衝立等を活用して区切り、安心して睡眠がとれるよう配慮しています。SIDSの予防では、0歳児は5分間隔、1歳児は10分おきに呼吸チェックを行い、チェック表に記録し、視診、触診をして確認しています。5歳児は就学を見据え、11月から

午睡時間をなくすようにしています。

● トイレトレーニングでは、個別月間指導計画にトイレトレーニングを含めて記載し、個人差を理解して保護者と密に連携をしながら進めています。保育士は一人ひとりの排泄間隔を把握し、強制や無理強いをしないよう心がけ、トイレ誘導をゆるやかに進めています。排泄に失敗した際は、子どもの羞恥心に配慮するよう心がけ、職員間で連携しながらシャワーを活用して気持ち良く過ごせるようにしています。開始時期には保護者に園での排泄間隔を伝え、家庭での協力を得られるようにしています。


● 長時間にわたる保育では、子どもの状況を申し送り書にて職員間で引き継ぎ、子どもがゆったりと寛ぎ、安心して過ごせるよう配慮しています。延長保育での補食に関しては希望に応じて対応し、夕食も家庭の夕食に妨げにならないよう配慮して提供しています。

評価分類Ⅱ－２	安全管理 [健康管理]
評価	

### 評価の理由（コメント）


● 健康管理は、健康管理マニュアルを完備し、子ども一人ひとりの健康状態の把握に努め、目視、連絡帳、朝の検温を行い、健康に留意しています。園での子どもの健康状態は保護者に伝え、検温の状況に応じて保護者に連絡しています。定期的に嘱託医による健康診断、歯科健診、身体測定を行い、健診の結果は記録し、保護者へは紙面でその日の内に配付しています。歯磨き敢行では、1歳の夏くらいから歯固めを行い、2歳～3歳児は食後に保育士が仕上げを行っています。幼児クラスは洗面所に各自の歯ブラシをセットし、鏡をみながら磨けるよう環境作りをしています。また、保育士により検査薬（赤染め）を使って磨き残しの指導を受け、自分の健康に感心が持てるようにしています。

● 横浜市基準に則った感染症に関するマニュアルを備え、入園のしおりに「病気とけが」について明記し、与薬対応や、登園許可証明書または保護者記入の登園届の要否について説明しています。感染症が発生した場合は、園内での感染症蔓延に注意し、注意喚起の掲示を行い、迅速に職員間で必要な情報の共有を図っています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡を行い、可能な限り別室で個別に対応しています。

評価分類Ⅱ－２	健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]
評価	

### 評価の理由（コメント）

●衛生管理に関するマニュアル（法人本部で作成）を備え、法人本部で定期的に見直しています。マニュアルは全職員で共通認識を図り、園全体の掃除箇所を事務室に掲示し、マニュアルに沿って清掃チェック表を作成しています。清掃は、保育室、トイレ、共用部の清掃手順を定め、清掃チェック表を基に毎日掃除を行い、害虫駆除として土曜日にゴキブリ駆除の薬剤を設置し、適切に衛生管理を行っています。ノロウイルス対策では嘔吐処理セットを各クラスに備え、職員は習得しています。また、汚物処理時には使い捨て手袋を使用し、外部からの感染症を防ぐために消毒液を設置する等、衛生管理に努めています。

評価分類Ⅱ－２	健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]
評価	

### 評価の理由（コメント）

●安全管理では、安全管理に関するマニュアルを備え、毎日、安全点検をチェック表で行い、園長・主任に報告しています。また、事故が発生しやすい睡眠中、プール活動、水遊び中、食事中等の場面で多いことを理解し、子どもの主体的な活動を大切にしつつ、マニュアルに沿って体制を講じています。毎月、様々な災害を想定した避難訓練を実施し、災害時の避難先の山王森公園（1次避難場所）や神大寺小学校（防災拠点）へ確認で実施しています。緊急時に備え、園内の避難経路図や緊急時の職員連絡網、体制を整え、保護者への連絡一斉メールを整備し、事故や災害時に的確に対応できるようにし、入園のしおりにも明記して周知しています。法人全体では大研修（全職員必須）でAEDの実地研修を行い、習得し、隣のバンダイナムコテクニカ所有のAEDを拝借させてもらっています。また、順次、救急救命法の研修を受講し、緊急時に備えています。

●事故やケガにおける対応について、保護者の連絡先を把握し、救急・医療機関の一覧表を備え、緊急時に対応できるようにしています。園内で事故やケガが発生した場合は、事故報告書、ヒヤリハットに記録し、ハザードマップを作成しています。ケガをした翌日の登園時には家庭での様子を聞き、異変はなかったかどうか把握しています。また、毎日の昼礼で小さなケガでも報告し合って改善策を検討し、法人系列全園の事故報告書を基に話し合いを行い、再発防止に努めています。

●外部からの侵入に対して、安全管理に関するマニュアルに沿って定期的（年2回）に不審者侵入訓練を実施しています。玄関は電子錠を設置し、来訪者はモニターカメラで確認の上、開錠しています。また、テレビカメラを設置し、委託警備会社と契約して夜間の不審者侵入にも備えています。散歩時は必ず保育

士と連絡が取れるよう携帯を所持しています。不審者情報は、神奈川県役所の情報をメール、FAX で入手し、警察、隣接するマンション、近隣の小学校、法人系列園のネットワークにより情報を得ています。

## 評価分類Ⅱ－3

### 人権の尊重

#### 評価



#### 評価の理由（コメント）

- 「子どもの人権尊重」については、職員会議で保育研修を通して主任が講師となって講義を実施し、オムツ替え、着替え時の配慮点等について実例を通して学び、職員間で相互に話し合う場を設けて研鑽しています。職員は、叱り方・呼び方等に威圧的な言葉遣いや、急かす言葉等を使用しないよう心がけ、職員は真意を理解し、子どもの気持ちに寄り添い、日頃から職員間で確認し合っています。
- 子どもが他児や保育士の視線を意識せず過ごせる場所として、柱の陰、衝立て、2階では絵本コーナー、廊下の角等があり、一人で過ごせる場所や、一人用の机を用意して工夫しています。
- 個人情報の取り扱いや守秘義務については、「アイン保育園における個人情報保護の方針」を配付し、全職員（ボランティア、実習生含む）に定義・目的について周知し、共通認識を図り、「ボランティア・実習生の受け入れのマニュアル」にも明記し、誓約書を交わしています。個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管し、閲覧場所を定めて管理しています。保護者には、入園のしおりに明記し、個人情報の守秘義務について説明を行い、個人情報の取り扱い（肖像権等）の確認を行い、「同意書ならびに誓約書」を提出してもらっています。また、個人情報の入った書類等は専用のウォールポケットにより保護者へ手渡しする等、個人情報管理に留意しています。
- 性差に関する配慮では、遊びや行事の役割、持ち物の区別、順番、グループ分けや整列も性別で区分けすることはしていません。子どもや保護者に対して、固定的に捉えた話し方や表現をしないよう心得、子どもへの無意識な言葉かけについては職員間で互いに留意し、共通認識を図っています。子どもには絵本や紙芝居、図鑑等を活用し、様々な人がいることを知らせています。園では、モンテッソーリ教育の文化教育に沿った考えを大切にし、保育士主体にした整列は行わず、自発的な活動を重んじて保育に当たっています。





### 評価の理由（コメント）

- 保育方針・園目標は、入園説明会時、クラス懇談会で園目標と併せて今後の方針について説明し、園目標は園内に掲示して理解を促しています。また、入園のしおり、パンフレットに保育理念、保育方針、園目標を掲載し、ホームページには保護者が意見等を書き込めるようにしています。園だよりには園長のコラムを掲載し、連絡帳でも保育方針、園目標が理解されるよう努めています。行事後には保護者にアンケートを実施し、意見や要望から行事のねらい、園目標が理解されているかを確認し、園運営に生かしています。基本方針の理解については、保育所の自己評価でアンケートを実施しています。さらに、職員が率先し、保護者にも「モンテッソーリ教育」の考えを理解してもらい、家庭で取り入れてもらえるようカリキュラムを作成し、年5回、研修会を開催しています。
- クラス懇談会は保護者が参加しやすいよう土曜日に開催し、園生活や遊びの場面における子どもの育ちを伝え、子どもの様子や活動内容はエピソードを交えながらわかりやすく伝え、保護者と子どもの成長を共有しています。保護者との連絡、伝達事項は、1日の子どもの様子を送迎時に口頭で伝えるよう基本的に心がけ、連絡帳の他に、ホワイトボードにその日のエピソードを記載して保護者に伝えています。保護者のメール配信システムでは、災害時の連絡、イベントの変更のお知らせ、緊急連絡等で活用しています。
- 個別相談・面談については、相談室、事務室を活用して行い、入室を制限してプライバシーを確保できるよう配慮しています。相談を受けた場合は、職員、園長・主任が同席するようにし、相談内容を記録し、必要に応じて継続的にフォローしています。
- 園生活に関する情報は、毎月、園だよりを発行し、定期的にクラスだよりを発行し、カラー写真で掲載する等、子どもの様子、活動や保育の様子を知らせています。0歳、1歳、2歳児については連絡帳でその日の様子を伝え、3歳～5歳児は出席カードの裏の通信欄、ホワイトボードを活用して子どもの様子を伝えています。また、SNSやフェイスブックでも画像付きの様子を発信しています。
- 保護者の保育参加・参観については、年度初めに年間行事予定表を配付し、毎月の園だよりでも予定を掲載して保護者が参加できるよう促しています。「1日保育士体験」事業として、保育参加の受け入れを行い、園だよりでも伝えています。乳児については保育参観とし、保育参加については期間以外にも1年を通して参加を募っています。
- 園では保護者会は設けておらず、卒園児の謝恩会の打合せでは保育室を提供し、謝恩会に招かれた場合は参加する等、保護者とコミュニケーションを図っています。保護者とは日頃から信頼関係を築くよう心がけ、円滑な園運営につなげられるよう努めています。



## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

### 評価分類Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価



#### 評価の理由（コメント）

- 地域の子育て支援では、育児相談、園庭開放を実施し、地域に向けた子育て支援に取り組んでいます。その他、神奈川区役所主催の「わいわい子育てパーク」、イベントに参加して地域の子育て情報を得ています。また、法人系列3保育園と交流保育を実施し、片倉三枚地域ケアプラザでは高齢者と世代間交流を行い、園の運動会には卒園児を招待し、近隣の小学校とは年長児が交流を行っています。職員は、キャリアアップ研修参加時に他園の保育士と交流を図り、地域の子育て情報も収集するようにしています。
- 地域の子育て支援ニーズは、育児相談、園庭開放等の利用者、園見学者を通じて把握しています。また、「わいわい子育てパーク」に参加して神奈川区の子育て支援情報を収集し、得た情報を職員間で話し合っています。未就園児を対象に、毎週水曜日 10 時から 11 時まで園庭開放を実施し、育児に関する悩み相談を受け、アイン三枚町保育園の特徴等を話す機会も設けています。

### 評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を生かした相談機能

評価



#### 評価の理由（コメント）

- 神奈川区の子育て情報サイト、広報よこはま神奈川区版等に掲載して情報提供しています。育児相談事業については神奈川区の広報誌や、神奈川区のホームページに子育て相談の案内、園の紹介を掲載し、育児相談に応じる旨を発信しています。また、子育て支援事業の利用者や園見学者にも園の情報を提供し、近隣のマンションの掲示板での告知やポスティングを行い、情報を提供しています。神奈川区子育て支援の取り組みでは、センター園（横浜市松見保育園）、担当園と協力しながら地域の未就園児の保護者対象に育児相談を行っています。
- 園長は、各種連絡会に参加し、入手した情報は職員に周知しています。関係機関・団体等の連絡先リストを作成して事務室にファイルし、職員で共有しています。関係機関（神奈川区こども家庭支援課・神奈川区役所福祉保健センターの保健師・近隣小学校・地域ケアプラザ・横浜市東部地域療育センター・東部児童相談所・園医・警察・消防署等）との担当は園長・主任とし、連携を図っています。近隣の小学校との交流会では担当者を定め、就学に向けて年長児がスムーズに1年生と交流ができるよう連携を図っています。

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

### 評価分類Ⅳ-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価



#### 評価の理由（コメント）

- 地域への園の理解促進のための取り組みとして、園行事（運動会、夏まつり）に地域の方々を招待し、園の理解につなげています。また、片倉三枚地域ケアプラザの高齢者との交流や、近隣の玩具会社（バンダイナムコテクニカ）の従業員の方々と親しく交流を図り、地域の様々な人と交流する機会を設けています。ボランティアの受け入れでは、中学生の保育体験や、専門学校の体験学習、神奈川区内の保育養成校のボランティアを積極的に受け入れて交流しています。
- 子どもと地域との交流では、幼保小と密に連携し、法人系列園での交流、散歩等で交流を図っています。地域の文化・レクリエーション施設等の利用では、片倉三枚地域ケアプラザ、近隣の公園等を活用しています。散歩や買物では、地域のお花屋さんや近所のお年寄り、マンションの方等と挨拶を交わし、交流しています。園長は、2か月に1回、神奈川区の園長会議に出席し、ブロックに分かれて活動し、交流を行っています。

### 評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供

評価



#### 評価の理由（コメント）

- 園の保育内容・保育方針等の情報提供は、神奈川区のホームページ、神奈川区の子育て支援情報サービスのホームページやパンフレット、横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」にも情報を掲載し、園のパンフレットは神奈川区役所に設置して情報を提供しています。園のホームページや入園のしおりに料金等の情報を掲載して周知しています。
- 利用希望者からの電話問い合わせ等については随時、丁寧に対応し、見学ができることを案内しています。園見学者には、希望者の都合に合わせて対応し、園の保育方針や利用条件等についてパンフレットに基づいて説明を行い、案内をしながら保育園での生活や年齢に応じた過ごし方等を説明しています。

**評価分類IV-3****ボランティア・実習の受け入れ**

評価

**評価の理由（コメント）**

- 園では、ボランティアを積極的に受け入れ、実績があります。マニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行い、受け入れの担当は園長とし、基本的な考え方や園の方針の説明を行い、理解を促しています。中学生の保育体験等や地域のボランティアを受け入れています。終了日には反省会を行い、感想や意見を園運営に反映させています。保護者へは入園説明会や園だよりで周知しています。
- 実習生の受け入れは、今年度10月から受け入れています。育成担当は園長が行い、実習生受け入れのマニュアルに沿って事前にオリエンテーションを行っています。園の保育方針、保育内容、心構え、子どもへの接し方、保護者の対応と守秘義務、留意事項を説明し、守秘義務に関して誓約書を交わしています。保護者に対しては入園説明会や園だより、掲示にて周知し、理解を促しています。実習では、実習生の計画、希望に応じて適切な実習プログラムを作成し、効果的な実習に努め、実習終了日には全体の反省会を行い、感想、気づきを書面で提出してもらい、意見交換を図り、成果に結び付けています。

**評価領域V 人材育成・援助技術の向上****評価分類V-1****職員の人材育成**

評価

**評価の理由（コメント）**


- 人材の確保については、法人本部で必要な人材の補充を逐次実施しています。園長は、職員個々の職位や必要なスキルを目指して、人材育成計画に沿って職員のスキルアップを図るよう取り組んでいます。人材育成計画や人事考課制度に則り、年2回、面談シートを基に園長との面談を実施し、年1回、法人保育事業本部と面談を行い、職員一人ひとりの資質向上につなげています。研修体制については、法人本部開催の大研修（年2回）、小研修（年3回）を開催し、法人管轄のエリアごとの階層別研修に参加し、他、外部講師による研修、モンテッソーリ研修（静岡）、キャリアアップ研修に参加して知識・技術の向上を図っています。

- 常勤職員、非常勤職員の研修体制については、職員の経験年数や役割に応じて研修を促し、スキルアップを図っています。非常勤職員に関しては限られた勤務時間を考慮し、常勤職員が受講した研修報告書を閲覧できるよう共有化を図っています。外部研修受講後は研修報告書を作成し、園内研修、職員会議時に伝達研修を行い、職員間で共有を図り、報告書はファイリングして閲覧できるようにしています。また、非常勤職員の会議を実施し、コミュニケーションを図りながら園の円滑な業務につなげています。
- 業務では、常勤職員と非常勤職員を組み合わせ保育に当たっています。モンテッソーリの動画、勤務のマニュアル集を備え、全クラスで情報を共有し、昼礼で資料を配付して説明し、業務に生かしています。

評価分類V-2	職員の技術の向上
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 計画的に職員個々のスキルの段階に応じた技術向上に取り組み、今年度は第三者評価による保育所の自己評価を実施し、質の向上につなげています。外部からの技術指導では、神奈川県役所の有識者、外部の英語講師、法人本部のスーパーバイザー等から評価やアドバイスを受け、法人主催の研修、外部講師を召喚しての研修、各種研修に参加し、情報や知識を得ています。園長不在時は主任が主体となって保育にあたり、円滑な業務に尽力しています。
- 人事考課制度により職員は目標を決め、保育や業務の計画、記録を通して自己評価を実施し、年間指導計画に沿って振り返りを行い、月案での振り返りでは子どもの育ちや取り組み過程を重視し、次月の指導案につなげています。職員の個人の目標は月間目標に展開し、視覚化してわかり易く示し、振り返りから次月に反映させています。職員は、保育の柱であるモンテッソーリ教育を保育に生かし、日々研鑽を図っています。
- 保育士等の自己評価の結果は、個人の目標の達成度ややりがい等に照らし合わせ、保育所の課題を明らかにして改善に生かしています。保育所としての自己評価は職員会議等で協議を図り、園全体の現状を把握し、改善に努めています。

評価分類V-3	職員のモチベーションの維持
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 園長は、職員の面談時に目標、自己評価のフィードバックを行い、成果を認め、次のステップに向けた努力や改善を要する能力について職員と共に考え、共通認識を図っています。特に、モンテッソーリ教育

においては、意欲的な取り組みに評価しています。職員からの意見・要望等は職務に組み入れ、業務の改善提案や意見については、法人本部で職員に対してアンケートを実施し、要望等を把握しています。

●経験・能力や習熟度に応じた役割、期待水準は階層別に明確にしておき、権限の委譲は分担表で明確にしています。業務改善に関しては、クラスノート、昼礼ノートに記録し、検討するようにしています。職員は、モンテッソーリ教育について自主的に保護者向け研修会を開催する等、権限の委譲を受けて取り組んでいます。新人職員に対しては、モンテッソーリ教育においてサポートができるよう OJT 担当職員を付けて標準化に努めています。

## 評価領域VI 経営管理

### 評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価




#### 評価の理由（コメント）

●守るべき法・規範・倫理等（就業規則など）は運営マニュアル、就業規則等に明文化し、職員に周知しています。経営、運営状況等の情報は法人のホームページで公開し、各園の運営状況も掲載し、横浜市、神奈川区へ報告しています。コンプライアンスに関しては、他施設での不正、不適切な事案（法人本部開催の園長会議、区の園長会議での事例等）を題材として研修を実施し、職員は規範について再確認し、改善の指針として日々の保育に生かしています。


●保育所における事務、経理、取引等に関するルールや職務分掌、組織図は「運営マニュアル」に明文化し、職員に周知しています。事務、経理、取引等に関する監査は法人本部の担当者が実施しています。

●ゴミ減量化、リサイクル・省エネ促進と緑化推進については、企業方針の中に「元気な大人になるための環境」を掲げて取り組んでいます。また、環境整備についてモンテッソーリ教育の環境・配置の取り組みを明文化し、保育を通して環境教育が実施されています。リサイクル、ゴミの分別は子どもたちも一緒に実施し、コピー用紙の裏紙の使用、牛乳パックの再利用、色画用紙の切れ端等を保育の素材として活用し、一部のゴミはリサイクルショップを活用してゴミ減量化に取り組んでいます。省エネ促進では、園内はLED照明の自動消灯になっており、自動消灯以外の使用しない部屋の節電や、冷暖房の効率を図るためにフィルター清掃に努めています。

評価分類VI-2	施設長のリーダーシップ・主任の役割等
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 理念・基本方針は明文化し、理念・方針、保育目標を事務室に掲示し、職員の目に触れるようにしています。園長は、昼礼で経営テーマ、事業理念、保育年間目標、園の保育方針を説明し、職員が運営に主体的にかかわれるよう心構えを伝え、保育に反映されるようリーダーシップを発揮しています。職員会議では具体的な保育場を上げて理解を促し、指導計画作成や日々の保育から職員の理解度を把握しています。また、モンテッソーリ教育の「おしごと」の場面でのかかわり方、教具の提示方法等について話し合い、職員の援助方法等の意識統一が図れるよう指導力を発揮しています。
- 重要な意思決定については、園長は職員、保護者に情報提供と共に説明を行い、責任所在地や経過を提示して理解を促しています。重要事項の決定では、異なる部門の職員を介した「検討チーム」に法人本部保育事業部が加わり、組織全体で決定する体制を整えています。
- スーパーバイズのできる主任クラスの育成については、法人本部の人材育成プログラムに「主任育成プログラム」を設け、定期的に主任・リーダー研修を実施しています。主任は、副主任と共に各職員の業務状態を把握し、個々の精神面、体調面に配慮し、能力や経験に応じた的確な助言や指導に努め、園長の補佐としてまとめ役およびパイプ役となり、円滑な園運営に努めています。

評価分類VI-3	効率的な運営
評価	

### 評価の理由（コメント）

- 園の運営面における情報は、神奈川県保育園園長会、幼保小連絡会、区主催の研修会、法人本部の園長会議等に出席し、情報を収集・分析を行い、園運営に生かしています。重要な情報は職員全体に周知し、話し合い、園全体で取り組んでいます。保育所の自己評価や改善課題についても全職員で話し合い、より良い園作りに向けて取り組んでいます。
- 中長期的な計画については、法人本部で3年間の事業の方向性を決定し、示しています。また、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討し、次代の保育所運営に備え計画的に後継者の育成に努めています。外部の機関や専門家等からのアドバイスについては、法人顧問弁護士、税理士、英語講師、外部講師、第三者委員等の意見を取り入れ、運営に有効に生かしています。

## 成 30 年度 福祉サービス第三者評価 本人（園児）調査結果

### アイン三枚町保育園

調査日程	平成 30 年 11 月 14 日・15 日
保育観察	保育園に調査者 2 名で訪問し、全クラスの視察、観察を行いました。生活環境の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事場面も同席して子どもと保育士とのかかわり等の観察を行いました。各年齢については 1 日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

アイン三枚町保育園は 0 歳児から 5 歳児まで、定員 78 名の中型園です。第 1 日目は 0 歳児とのお散歩に同行し、園児と一緒に昼食を取り、第 2 日目はモンテッソーリ教育の現場を観察し、以下様子を記します。

#### <お散歩>

##### 【0 歳児】

訪問調査第 1 日の午前中、0 歳児 6 名のお散歩に同行しました。行き先は「山王森第 2 公園」です。0 歳児の部屋は 1 階にあり、ベランダから子どもたちは外に出ることができ、月齢の高い子どもは保育士と手をつないで歩き、残りの 4 名はバギーに乗って出かけます。園庭を通り、フェンスの扉から外に出ると道を挟んだ向かいにはバンダイナムコのテクニカルセンターがあり、日常的に親しく交流を図り、先日のハロウィン時にはお菓子を配ってもらい、クリスマスでは従業員の方がサンタクロースになって園児を喜ばせてくれる等、良好な関係が構築され、また、新しく開発された遊具も子どもたちに見せてくれたり、触らせてもらっています。親しみあるバンダイナムコの前の道を新幹線の高架に沿って歩いていくと、右側に雑木林の名残が残っていました。そこにはミカンが実をつけていました。子どもが見つけて「あっ！」と、つぶらな瞳にみかんが映り、小さな人差し指を曲げてみかんを指します。少し歩くと新幹線が通過し、また「あっ！」と言って子どもが指をさします。いつも見えている新幹線が大きな音で走り去り、0 歳児の子どもたちは何にでも興味を示して発見となります。少し行くと鶴見川支流の小川が流れており、橋から覗いてみると赤い字で「危険水域」との高さ表示を示し、この前の台風時では現実味を帯びてきたことをうかがいました。橋を渡りきると、「山王森第 2 公園」に到着しました。公園は園庭と同じくらいの大きさの公園で、0 歳児の子どもたちが遊ぶのに適しています。公園は整備され、周囲には花壇や、花壇の前にはペーブメントがあり、公園の中央部分は砂地になっています。遊具は小さな滑り台と小さな亀のような登れる遊具が設備され、ベンチや水飲み場もあり、子どもたちにとって安全な環境です。子どもが周囲の花壇の花を指さして興味を示したり、温かい陽射しの中、子どもたちはよちよちと歩き、保育士がそばで見守りながら、興味が向くままに遊び、体を動かして遊び終わると園に戻ります。「ただいま」と帰ると、子どもたちは 1 人ひとり清潔にしてもらい、食事の時間を待ちます。



## <給食>

### 【3歳、4歳、5歳児】

給食は、幼児と同席をさせていただき、一緒に食事を取りました。園では、3歳～5歳児が異年齢で保育を実施し、保育室はオープンに開放し、スペースをモンテッソーリ教育5分野（日常、感覚、言語、数、文化）に分け、5分野がコーナーとしてセットされています。その5領域のコーナーの中に個人別のテーブル（名前記載）があり、決められたグループで一緒にテーブルを並べ、食事を取ります。異年齢グループは、3歳、4歳、5歳の各クラスから作られた3人組が1グループとなり、多い時は3組、4組がまとまって机を並べ、給食時間を楽しく過ごします。調査者のテーブルの近くに5歳の女の子、4歳の男の子、3歳の女の子がグループとなり、5歳児がお世話をしていました。それぞれ給仕の場所に行き、食事を順番に汁物、ご飯、おかず、お茶、箸やスプーンを運び、三角食べにきちんと並べていきます。「ご飯はここ、おかずはここ、お箸はここ」と言って5歳児は率先して積極的にお世話をし、責任感を備えている様子うかがえます。静かに食事を取り、食後は食器を返却し、テーブルを元の位置に戻します。食器を片づける際は「その上に重ねるの」とか、「曲っている！」等、きちんと片づけるよう言葉が飛び交い、年下の子どもは年上の子どもの指示を聞き、習ってその通りにしています。午睡については0歳児から順に午睡に入り、0歳児は11時過ぎに食事を取り、午睡時間は11:20～30頃からとなっています。3歳～5歳児は食事を11:30頃から開始して食事最終は12:30頃になり、子どもたちは午睡の準備をして1時頃までには眠りについていました。

## <遊び>

### 【1歳、2歳児】

午前中、自由遊びをしている子どもたちの様子を視察しました。自由時間はコーナー遊びを行っており、1歳児はコーナーでおままごと、「おしごと」（モンテッソーリの教具を用いた遊び）、ソフトブロックでそれぞれ楽しそうに遊んでいます。コーナーごとに保育士がそばにつき、子どもが興味や関心を持っている遊びを見守り、時折、援助しながら遊んでいました。2歳児の保育室では、モンテッソーリの教具で遊び、国旗の絵カードで興味深く遊んでいます。子どもの中には、国旗の国名が言え、ひらがなを読める子どももいて、遊びでの刺激や日常から関心を持って遊びながら自然に覚えていく様子うかがえます。

## <「モンテッソーリ教育」の場面>

### 【3歳～5歳児】

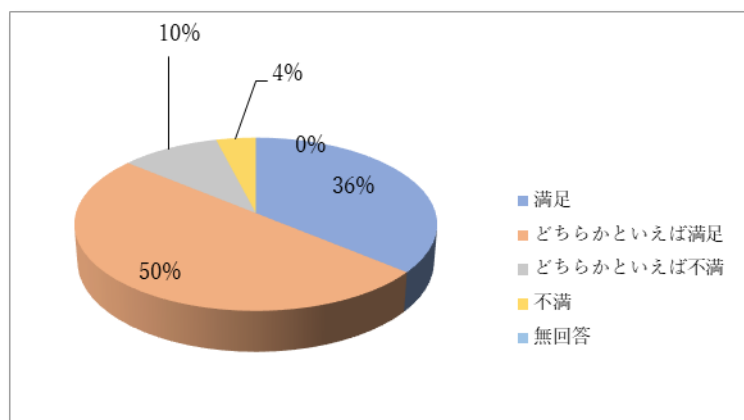
訪問調査2日目は、「モンテッソーリ教育」の場面を見学しました。保育室の各コーナーに分野ごとの教具が揃えて設置され、「生物のパズル」、「世界・日本地図パズル」等、子どもの興味・関心が赴くままに設定がされ、子どもたちの主体的な遊びを提供しています。世界各国の国旗の白いぬり絵がトレイ式の引き出しに収納してあり、子どもは自分で出して国旗の色を塗り、世界地図や日本地図の国別、県別パズルも揃い、パズルを楽しみながら自然に覚えられるようになっています。1人の子どもが世界地図の原図のパズルを見て、「スイス」と言うと、もう1人の子どもがスイスの形のピースを見つけて地図の場所に置きます。スイスは大陸の内陸国なので場所の特定ができません。そうすると、「スイス」と言った子どもがイタリアのピースを取り出して置いてあげます。「スイス」のピースを持っていた子どもはイタリアのピースの国境に合わせてスイスのピースを固定して置きました。すごい！！と感心することしきりです。隣のコーナーでは、言語の分野が設けられ、そこでは、ひらがなを彫り込んだ木の板（彫刻文字）や砂文字等を利用し、文字に親しみます。点線で書いてあるひらがなの練習用紙も備えてあります。次のコーナーでは、数の領域になっており、「10進法」の覚え方が工夫された教具が置かれており、ビーズ1つが「1」、ビーズが10個つながった「棒」が「10」、「10の棒」が10本並んだ「板」が「100」、「100の板」が10枚重なった正方体が「1000」というように、数を目で見えて実感でき、5感で体感できるようになっています。子どもが、ビーズを5個並べて数字の「5」と見比べて考えていました。多分、子どもたちは数の構成を目で覚えて、頭の中で組み立てることができているのでしょう。また、日常のコーナーにも色々工夫が施され、ボタンが付いている布でのボタンを掛けや外したりする練習（着衣枠）、ベルトを穴に通して折り曲げ、ギザギザで留める練習をする等、また、靴を履いて留める練習もあります。「モンテッソーリ」の多くの教具や、手作りの遊具がたくさん用意され、子どもたちは飽きずに集中して意欲的に遊んでいます。さらに、洗濯板を使って実際に洗濯することもあるようです。「感覚のコーナー」では、折り紙や長い色紙を使って子どもが考え、好きなものを創造豊かに作製していました。驚いたことは、ハサミで切り紙をしているのにゴミが散らかっていないのにびっくりしました。そこには、折り紙や長い色紙と共にゴミ用のトレイが準備され、トレイをテーブルの上に置き、切った切れ端はトレイの中に入れてゴミが床に落ちないようにしていました。この習慣はすべてに通ずるものであり、子どもたちは当たり前のようにしてハサミで自由にチョキチョキ切って遊んでいます。教具を自由に出して、興味あることに向かって遊び、作品を感覚的に作り、使った後は決まった場所に片付けることを一貫して実践している子どもたち。モンテッソーリを生かす環境整備の重要さと、吸収の早い子どもたちの柔軟性に感嘆しました。

## 【アイン三枚町保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	平成 30 年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配付世帯数 (世帯数 68)
有効回答数	50 世帯
世帯総数に対する回答者割合 (%)	74%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
4 世帯	9 世帯	9 世帯	11 世帯	10 世帯	7 世帯

\* 回答があった利用者満足度の内訳 (%)



●利用者アンケートの特徴として、日常の保育内容での「生活」についての項目が総体的に『満足』が高く、『満足』の高い項目では、「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」についてが『満足』は74%を得ています。また、「給食の献立内容」については『満足』68%を得ています。

『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、ほぼ満足という）見ると、「お子さんが給食を楽しんでいるか」については、「ほぼ満足」は96%を示しています。また、「給食の献立内容」、「施設設備」についての2項目は、「ほぼ満足」94%を得ています。また、「園の玩具や教材について」、「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」、「お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているか」の3項目は、「ほぼ満足」は92%となっています。さらに、「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応」、「保育園での1日の過ごし方についての説明」の2項目は、「ほぼ満足」90%を得ています。その他の項目についても、「ほぼ満足」に関しては高い評価を得られています。

●アンケートの自由記述からは、各年齢の保護者から「モンテッソーリ教育をこれからもどんどんやってほしい」、「夏の気温が高く、外遊びができない時もいろいろな工夫をしている」、「ちょっとした相談にも気軽に相談に乗ってもらっている」、「園長先生をはじめ、どの先生（保育士）方も非常に感じが良い」、「自由保育をモットーにしているのが非常に良い」、「皆さんが一生懸命子どもたちに向き合ってくれ、とても

感謝している」、「アプリで欠席の連絡ができたり、一斉メールで連絡がきたりと便利です」、「5 歳児のハローワークは是非、続けてほしい」、「担任の先生（保育士）は何かと親身になってくれとても信頼している」等、多くの喜びと感謝の意見が挙がっており、保育方針を理解した意見が目立ちます。

●『不満』および、『満足』が比較的低い項目では、「子どもが戸外遊びを十分しているか」についてが、『不満』26%と中でも挙げられます。『満足』の低い項目では、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」についてが挙がっています。

●アンケートからの意見では、「もっと外遊び、体を使った遊び、集団遊びを増やしてほしい」、「写真販売の再販があると嬉しい」、「行事日程の組み方等、曖昧な事や急な変更がある」、「園内を清潔に保ってほしい」、「トイレトレーニングを積極的に進めてほしい」、「プールの実施回数が少なかった」、「職員の入れ替わりが目立つ」等の意見が挙がっています。それぞれに関しては園から説明、周知されていると思いますが、保護者からの意見、要望等について受け止め、利用者の理解や協力につなげられるよう、日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、継続してより良い園作りへの取り組みを期待いたしております。

●保育園の基本理念や基本方針についてでは、よく知っているが10%、まあ知っている80%、あまり知らない8%、まったく知らない2%という結果になっています。しかし、それらの賛同については、賛同できる40%、まあ賛同できる40%、どちらともいえない10%、無回答10%にて、80%がほぼ賛同を示しています。保育の根幹なる保育目標、保育方針は機会あるごとに周知を図っていますが、より一層の周知・理解を促す工夫が期待されます。

●総合的に、『満足』は36%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は50%、『どちらかといえば不満』は10%、『不満』4%、『無回答』0%にて、サービスの提供について、86%が「ほぼ満足」していると捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

アイン三枚町保育園

【保育園の基本理念や基本方針について】

※上段%、下段人数で示しています

問 1

利用者調査項目		よく知っている	まあ知っている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	10%	80%	0%	8%	2%	0%
		5人	40人	0人	4人	1人	0人
		賛同できる	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	40%	40%	10%	0%	0%	10%
		20人	20人	5人	0人	0人	5人

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	38%	30%	4%	4%	24%	0%
		19人	15人	2人	2人	12人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学をしていない。(2)</li> <li>・新設園の為、見学できませんでした。(5)</li> <li>・施設園の為、系列園を見学。</li> <li>・新設園だったからできなくて仕方ない。</li> <li>・新設園の為、見学はなく説明会でした。</li> <li>・兄弟児が通っていた為、見学はしていない。</li> <li>・知らない人が来るのは、人見知りしている子にとっては不安である為。</li> </ul>					

4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	30%	36%	10%	8%	16%	0%
		15人	18人	5人	4人	8人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設園なので、まだ未知なところが多かった。</li> <li>・覚えていない。</li> <li>・新設園の為、バタバタしていた。</li> <li>・新設園の為、見学できませんでした。</li> <li>・兄弟児が通っていた為、見学なし。</li> <li>・わからない。</li> </ul>					
5	園の目標や方針についての説明には	28%	54%	8%	4%	6%	0%
		14人	27人	4人	2人	3人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめはよくわかりませんでした、徐々に理解できました。</li> <li>・覚えていない。</li> <li>・新設園の為、見学できませんでした。</li> </ul>					
6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	40%	50%	4%	4%	2%	0%
		20人	25人	2人	2人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒がしくて落ち着いて話せませんでした。</li> </ul>					
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	38%	52%	4%	6%	0%	0%
		19人	26人	2人	3人	0人	0人
《その他意見》							
8	費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	30%	36%	26%	4%	4%	0%
		15人	18人	13人	2人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長料金についての説明に食い違いがあった。</li> <li>・入園前に延長料金が具体的にわからなかった。</li> <li>・初年度で方針が変わり、購入になった物があった。決定も遅かった。</li> <li>・あまり具体的な説明がなかった。</li> <li>・延長保育料について、最初に説明があったがその数年後に利用する事になった。大分たってからの利用の為、もう一度確認したが担当者は、はっきり回答できなかった。園長であれば回答できたと思いますが。</li> <li>・延長保育料に関して、別途案内と表記してあったが案内はなかった。</li> </ul>					

### 問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	24%	44%	20%	12%	0%	0%
		12人	22人	10人	6人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事の日程発表後に変更する。</li> <li>・運動会の日程が未定で、お知らせもあまり早くできなかった。</li> <li>・日程の変更等があり、また前年度にない行事についての説明がなかった。</li> </ul>					
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	12%	46%	12%	14%	14%	2%
		6人	23人	6人	7人	7人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールの回数が少ない。</li> <li>・特に要望していない。</li> <li>・よくわからない。</li> <li>・保育園に全て任せっきりになっている。</li> <li>・あまり要望は聞かれていない。</li> <li>・要望を聞いていただく機会がない。</li> </ul>					

### 問4 日常の保育内容について

#### 「遊び」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	44%	42%	12%	2%	0%	0%
		22人	21人	6人	1人	0人	0人
《その他意見》							
12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	22%	30%	22%	26%	0%	0%
		11人	15人	11人	13人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・この夏はほぼ外に出れず。</li> <li>・散歩が少ない。プール活動が週2回しかなく、ほとんどできていない。</li> <li>・もう少しプールや遊びをしてほしい。</li> <li>・もう少し散歩や外遊びが多いと良い。</li> </ul>					



13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	58%	34%	6%	0%	2%	0%
		29人	17人	3人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなおもちゃがあり、配置されているかわからない。</li> <li>・本はもう少し多くても良い気がする。</li> </ul>					
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	28%	38%	26%	6%	2%	0%
		14人	19人	13人	3人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に関わる活動を知らない。例えば、入学前の小学校との交流等。</li> <li>・園外活動はあまり知らない。</li> <li>・年長クラスはあるが低学年は、やっているのかわからない。</li> </ul>					
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	28%	54%	12%	6%	0%	0%
		14人	27人	6人	3人	0人	0人
《その他意見》							
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	30%	46%	20%	4%	0%	0%
		15人	23人	10人	2人	0人	0人
《その他意見》							

### 「生活」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	68%	26%	4%	2%	0%	0%
		34人	13人	2人	1人	0人	0人
《その他意見》							
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	60%	36%	2%	0%	2%	0%
		30人	18人	1人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅では、給食の話をしてくれない。</li> </ul>					
19	基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	74%	18%	6%	2%	0%	0%
		37人	9人	3人	1人	0人	0人
《その他意見》							

20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	48%	36%	12%	0%	4%	0%
		24人	18人	6人	0人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況共有がなく不明。</li> <li>・3歳なのでお昼寝がもう少し長くても良い。</li> </ul>					
21	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	54%	30%	4%	2%	8%	2%
		27人	15人	2人	1人	4人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時にははずれていた。</li> <li>・覚えていない。</li> <li>・トイレが2歳児近くはない。新園なのにガッカリした。</li> <li>・家庭の意向優先の為、園の誘導は少ない。</li> <li>・まだ、おむつはずしの取り組みはありません。</li> </ul>					
22	お子さんの体調への気配りについては	36%	52%	10%	0%	2%	0%
		18人	26人	5人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> </ul>					
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	34%	36%	16%	10%	2%	2%
		17人	18人	8人	5人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園で何があったか話はあるが、～は家で見てくださって終わってします。</li> </ul>					

#### 問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	44%	50%	4%	0%	2%	0%
		22人	25人	2人	0人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミや虫が多いのが気になる。</li> </ul>					
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	52%	40%	6%	2%	0%	0%
		26人	20人	3人	1人	0人	0人
《その他意見》							
26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	38%	50%	8%	0%	2%	2%
		19人	25人	4人	0人	1人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭へすぐ乗り越えて入って行ける。</li> <li>・何をどのように対策しているのかわからない。</li> </ul>					

27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	36%	44%	14%	6%	0%	0%
		18人	22人	7人	3人	0人	0人
《その他意見》							

問6 園と保護者との連携・交流について							
		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	28%	54%	12%	4%	2%	0%
		14人	27人	6人	2人	1人	0人
《その他意見》		・時間が足りないと感じた。					
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	32%	50%	10%	4%	2%	2%
		16人	25人	5人	2人	1人	1人
《その他意見》		・その時々による。 ・もう少し園での様子を報告してほしい。					
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	28%	38%	14%	14%	4%	2%
		14人	19人	7人	7人	2人	1人
《その他意見》		・4月の日程発表時に場所確保の段取りをせず、日程変更をした為。 ・運動会の決定が遅め。 ・日曜にしてほしい。 ・お誕生日会が平日に行われ、仕事を休まないといけない。行っても5分で終わる内容。親は行かなくても良いが、子どもが他の子は親が来ていると言うので、親の参加を期待している。月にまとめて開催し、子どものみにしてほしい。 ・運動会の日程が1ヶ月前に変更された。					
31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	20%	48%	14%	16%	2%	0%
		10人	24人	7人	8人	1人	0人
《その他意見》		・時間帯によっては情報をもらえる。					

32	お子さんの関する重要な情報の連絡体制については	20%	54%	8%	12%	4%	2%
		10人	27人	4人	6人	2人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を意図した質問なのかわからないので。</li> <li>・気にした事がない。</li> </ul>					
33	保護者からの相談事への対応には	30%	48%	14%	4%	4%	0%
		15人	24人	7人	2人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生によっては対応力に差があると感じる為、信頼できる先生に相談しています。</li> <li>・相談した先生による。</li> </ul>					
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	38%	40%	14%	2%	4%	2%
		19人	20人	7人	1人	2人	1人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・14時までに連絡しないといけないので、急なトラブルに対応できない。</li> <li>・18時半以降のお迎えの時は必ずおやつを申し込まなければいけなくなっているため、おやつを食べると子どもが夕飯を食べずに困る。</li> <li>・園長に相談の話をしたが、会議があると言われ早々に終わらせようとした事がある。</li> </ul>					

## 問7 職員の対応について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	38%	48%	6%	4%	4%	0%
		19人	24人	3人	2人	2人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ズボンや洋服を前、後ろ逆に着ても直されていなかったりするので、見てもらっていないのかと不安に思う。</li> <li>・雷雨（その際、雨は降っていないが予報では雷雨で強風の日だった）の際に子どもがバルコニー（2階）に立たされたと聞いた。危ないのでせめて廊下にしてほしい。</li> </ul>					
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	52%	36%	4%	6%	2%	0%
		26人	18人	2人	3人	1人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわからない。</li> </ul>					

37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	32%	34%	4%	0%	24%	6%
		16人	17人	2人	0人	12人	3人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのようなお子さんがいるか知らない。</li> <li>・我が子が該当しないのでわからない。</li> <li>・わからない。(6)</li> <li>・子どもはいずれも該当せず、よくわからないがアレルギー対応はしてくださっている様子です。</li> <li>・栄養士との面談やクリニックの採決結果、診断書等を求められるのですが急な事が多いので、予め問診時期を教えてください。</li> </ul>					
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	38%	36%	24%	2%	0%	0%
		19人	18人	12人	1人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生による。</li> </ul>					
39	意見や要望への対応については	26%	44%	22%	8%	0%	0%
		13人	22人	11人	4人	0人	0人
《その他意見》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長先生に話しても受け入れても受け入れてもらう感じがしない。押し切られる。本部も同様。</li> </ul>					

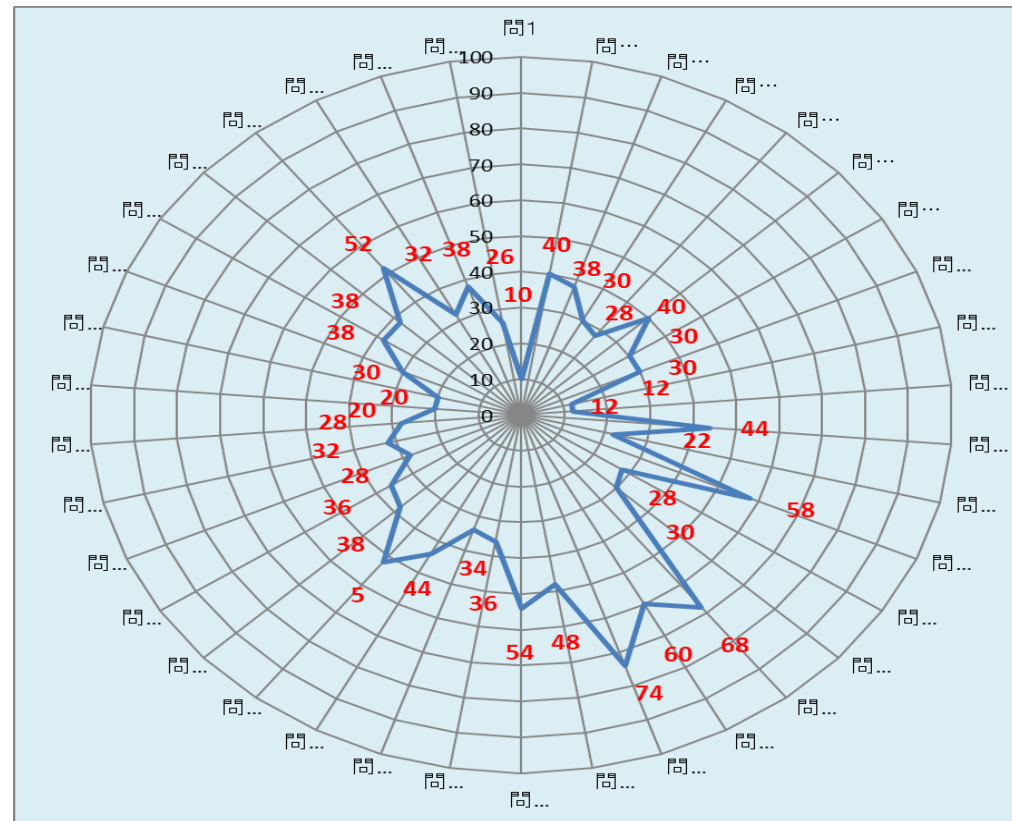
#### 問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	36%	50%	10%	4%	0%
		18人	25人	5人	2人	0人
《その他意見》						

## 利用者家族アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎： アイン三枚町保育園 横浜市神奈川区三枚町 31-1	
回答世帯数： 68 世帯中 50 世帯 <0歳児（4名）、1歳児（9名）、2歳児（9名）、3歳児（11名）、4歳児（10名）、5歳児（7名）>	
定員： 78名	調査期間： 2018/08/31 ~ 2018/10/11



## 事業者コメント

施設名： アイン三枚町保育園

施設長名： 高橋 美恵

### <評価に取り組んだ感想>

開園から4年目を迎え、初めて「第三者評価」の受審に取り組むこととなりました。

受審するに当たり、まずは「日々の生活を振り返り、保育の質を高めていく機会」と捉え、職員全員でアンケートに取り組み話し合いました。園全体として、自分自身の保育を客観的に評価することから、考え方の違いや、様々な点で曖昧な箇所があることに気づき、今後の改善点が見出せたことは大きな収穫でした。

開園時から、アイン保育園の3つのコンセプトの1つである「モンテッソーリ教育」を大切に、子ども自らが活動の自己選択をし、集中して取り組める環境構成を、今後も忘れることなく取り組んで行くという、これからの方向性も再認識することができました。

また、今回の評価を踏まえ、利用者の皆さまに更に満足していただけるような保育園を目指し、職員一同前向きに向き合い、助け合いながら今後の保育に努力して参ります。

最後になりましたが、今回の受審で丁寧を受け止めていただきました評価機関の皆さま、保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

### <評価後取り組んだ事として>

1. 来年度の年間行事の内容、日程を検討し、保護者の意向も考慮しながら予定を立てた。
2. 地域の皆さまに気軽に園に来ていただけるよう、「園庭開放」、「子育て相談」、「赤ちゃんの駅」のポスターやステッカーを利用し、情報提供を行った。
3. 今後は、更に地域交流を深めるため、ポスター掲示などの依頼をし、関わりを増やしていこうと思います。